

アルプスの「お花畑」に行くハイキング サント・アントン

ST. ANTON AM ARLBERG

サント・アントンは山の谷間に広がる海拔1304m、人口2600人の村。古くから、イタリアからスイスへと塩や綿花を運ぶために越えなければならなかったアールベルク峠の通商と交通の要所として栄えてきました。

サント・アントンの魅力は、雄大な山々、森、草原といった自然だけではなく、長い伝統を持つ地元のグループが歌や踊りを披露する「チロルの夕べ」、または山小屋でのパン作り体験など、チロルの伝統文化にも触れられることです。

夏には美しい高原の花が、山の斜面を色鮮やかに埋め尽くすサント・アントンの山々。その光景は、まさに「お花のじゅうたん」。街のメインストリート(一部歩行者天国)にある本屋で購入できるお花・高山植物のガイドブック(日本語有)を片手にハイキングを楽しむ人の姿があちこちで見られます。また、サント・アントン周辺には25軒のヒュッテが山上にあり、一般者向けのハイキングのみではなく、健脚者向けの山頂登頂コースやヒュッテに宿泊するコースなどが数え切れないほど揃っていることからチロルでもトップクラスの「ハイキング・トレッキングのメッカ」として知られています。

ブルーマンワンドルグ Blumenwanderung



地元のチロルの人々が「ブルーマンワンドルグ(お花畑のハイキング)」と呼ぶ、アルプスの高山植物を觀賞しながらのハイキングは、特別にルートが決まっているわけではなく、時期に合わせてハイキングガイドが皆様と共にお花畑を見ることが出来るルートを紹介しします。最も

ポピュラーなのはガルツィック、またはカパルの山から下るコース。ここではカパル山頂からの展望とカパル山からの下りのハイキングを組み合わせたブルーマンワンドルグのコースをご紹介します。

チェアリフトを利用し1846mのガンペンへ。ここで乗り換え、2323mのカパル山へ。ここからハイキングがスタートします。エンツィアン、ホタルブクロ、アネモネなど可愛らしいお花や高山植物を觀察しながら1時間30分ほど下ると、ガンペンに到着します。レストランのテラスでビールやお茶を飲みながらつつろぐのも良いかもしれません。ガンペンからはお花畑や針葉樹の間を通り抜ける道などを通りながらゼンヒュッテへ向かいます。優雅に馬で遠乗りを楽しむ